

令和2年国勢調査の概要

国勢調査は、大正9年（1920年）の第1回調査以来、国の最も基本的で重要な統計調査として5年ごとに実施されており、令和2年（2020年）に実施する調査はその21回目に当たり、実施100年の節目を迎える

調査の時期

調査の基準時 令和2年10月1日午前零時現在によって行う

調査対象

日本国内に住むすべての人（外国人を含む）と世帯

調査事項

世帯員に関する事項：氏名、男女の別、出生の年月など15項目

世帯に関する事項：世帯の種類、世帯員の数、住居の種類など4項目

国勢調査の主な役割

調査の結果から得られる人口は、我が国の人口の基本となる法定人口として、選挙区の区割りや地方交付税の算定の基準などに利用されます。

また、男女・年齢別人口、昼間人口、世帯構成（高齢者のいる世帯など）、産業別の人口などの統計は、国や地方公共団体の社会福祉、雇用、環境整備、災害対策などをはじめとして、あらゆる施策の基礎データとして利用されます。民間企業等においても、様々な分野で幅広く活用されています。

令和2年国勢調査の取組ポイント

インターネット回答の積極的推進

前回に続きオンライン調査を全国展開し、インターネット回答を積極的に推進

誰もが答えやすいバリアフリーな調査

インターネット回答の多言語化など、回答チャネルを多様化し、外国人や障がい者、高齢者の方々など全ての方の回答をサポートする多様な支援方策の充実

○企業や団体の活動・サポートとのコラボレーション

企業・団体の社会貢献活動などとも協働・連携し、外国人・若年層等の回答やインターネット回答の促進、調査員活動のサポートを幅広く展開